

(別紙様式第5号)

6次産業化推進整備事業(農業主導タイプ)点検評価書(平成30年度分)

地方農政局等名
東北農政局

6次産業化法人の名称	設立年月日	代表者名	構成員数
農事組合法人 新田営農組合	平成19年4月17日	手塚 隆	10人
主たる事務所の住所	山形県米沢市大字上新田1142-1	TEL FAX	セキュリティに配慮し、 非公開とします。

1 事業の実施状況

[取組状況について]

平成30年度は米沢道の駅開店、福島と米沢の高速道路などもあって沢山の人の動きも予想される年であった。道の駅での集客は予想を上回る状況であるが、当直売所の客は道の駅で止まっている様な感があり、多少減少している。その様な中、道の駅での販売も計画し、加工場を利用したりしながら、道の駅やその他のインショップ等での販売拡大に向け、加工、販売のハブ的役割を担う事で目標達成を目指したい。

さらに枝豆のむき豆や漬物液の販売など加工施設を利用した加工品販売等で売上向上に努めたい。

[経営状況、事業による変化等について]

今年より直接米の生産販売にも取り組み、多様な品種の栽培に取り組んでいるが、道の駅の開業により客足は減少している様である。また当組合での野菜生産を増加させると他の出店者、生産者が遠慮して出荷を抑える様になるので、その点の考慮も必要とのことである。個別には、ジェラード用の秘伝豆の冷凍加工も出荷販売が伸びている一方、製粉の販売は伸びていない。

2 成果目標の達成状況に対する所見

項目	所見
(所得の向上に関する目標) 売上高の増加	今年は道の駅の開業もあり、かなり客がそちらに取られている様であるが、道の駅の中での販売もあるので、加工場を利用した加工品の販売等に今後力を入れていきたい。その様な中で小規模な直売所のあり方を模索していきたい。 全体として、前年度の売上高より拡大したが、成果目標は達成していない。
(雇用の創出に関する目標) 雇用者の増加	目標は達成している。
(地域の活性化に関する目標) [耕作放棄地の解消面積の増加]	目標は達成している。

3 施設等の利用状況についての所見

[農畜産物加工・販売施設、乾燥機、製粉機の利用状況について]

加工所については夏場、枝豆のむき豆冷凍、漬物液の生産などを行い、稼働率が増加した。
乾燥、製粉については地域の需要が少なく、稼働率が減少した。

4 6次産業化法人と連携法人の取引状況について

該当なし

5 改善措置等に対する所見及び指導内容

(1)成果目標について

売上高は、当初設定した目標値が高過ぎたため達成できない状態にある。しかしながら、乾燥品などを直売だけでなく、ネット販売等により販路を拡大することとしている。

また、米、豆などはネットでの販売が順調に伸びており、この直売所でしか手に入らないといったオンリーワンの商品作りも目指している。

これらの目標達成に向けた取り組みを行うことから、引き続き自己点検報告書の提出を求めるものとする。

(2)施設等の利用状況について

乾燥機、製粉機などの利用率を向上するため、ネット販売等販路の拡大を目指していることから、引き続き自己点検報告書の提出を求めるものとする。